科目名称	看護過程	学年学期	単位数	時間数
		第１学年　後期	1	30
担当教員	藤原　惠子	授業に関わる 実務経験	■ 有（　看護師　） □ 無	

【1】 授業概要

看護の対象者に個別的な看護活動の方法を実践するために、健康問題を解決する系統的な方法を学ぶ。事例を用いて看護過程を学ぶことにより、看護に対する興味関心を深めることをねらいとする。

【2】 学習目標

1. 事例を通して看護実践の一連の過程を実施できる。
2. 健康課題に対する自己の判断や考え方を記録に表現できる。
3. グループワークにおける役割を果たすことができる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□ 3. 地域の特性を看護に生かす力
□ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護過程の構成要素①	講義
2	情報収集①	講義・グループワーク
3	情報収集②	グループワーク
4	分析・解釈①	講義・グループワーク
5	分析・解釈②	グループワーク
6	全体像①	講義・グループワーク
7	全体像②	グループワーク
8	看護記録	講義・グループワーク
9	看護問題①	講義・グループワーク
10	看護問題②	講義・グループワーク
11	看護計画（実施・評価・修正）①	講義・グループワーク
12	看護計画（実施・評価・修正）②	講義・グループワーク
13	看護計画（実施・評価・修正）③	講義・グループワーク
14	看護計画（実施・評価・修正）④	講義・グループワーク
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験 50%、小テスト 20%、グループワーク課題 30%

【6】 教科書

有田清子：系統看護学講座 専門分野　基礎看護学２ 基礎看護技術Ⅰ（第 18 版） 医学書院 2022 （電子版）
渡邊トシ子：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践 看護アセスメント ヌーヴェルヒロカワ 2017
T.ヘザー・ハードマン NANDA-Ⅰ看護診断 定義と分類 2021-2023（第１版） 医学書院 2021

【7】 参考書

ロザリンダ・アルファロ・ルフィーヴァ：基本から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院 2012
江川 隆子 ： ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断 ヌーヴェルヒロカワ 2019
永田明 ： 看護がみえる４ 看護過程の展開 メディックメディア 2021　　その他随時紹介する

【8】 受講生へのメッセージ

看護過程は、看護の考え方の技術（スキル）です。既習の知識を活用し、今対象に必要な看護は何かを判断していきます。この技術を基本として、対象者の個別性を考慮した看護を展開していきましょう。